



先生による授業風動画撮影の様子

## かにっこ 笑顔の学習

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で臨時休校が続く中、子どもたちに向けて、市立小中学校の先生が家庭での学習支援の一環として動画を制作し、4月18日からケーブルテレビ可児「いきいきマイタウン」で放送されました。

「論理的な考えや勉強の楽しさを伝え、子どもたちはもちろん、保護者や高齢者など幅広い世代の人にも楽しんでもらいたい」という思いも込められたこの動画。市公式YouTubeでも配信し、多くの保護者から反響をいただきました。

動画の詳細は 17 ページをご覧ください。

## 災害に強い工業団地の構築へ

3月30日、可児工業団地と結んでいる「災害時における物資の保管等に関する協定」の実効性を高めるため、災害時における情報提供の協力体制や連絡手段についての協定を新たに結びました。

地震や大雨、台風などにより、工業団地内や市内外に災害が発生した場合、IP無線をレンタルし、通信手段のひとつとして使用できるようになりました。協同組合岐阜県可児工業団地管理センターの傍島理事は「市と連携を密に、地域の発展へ繋げたい」と話しました。



協定締結式の様子(右が傍島さん)



協定締結式の様子(左が今西さん)

## 花と緑のあるまちづくりを

3月30日、地域社会の発展や人材育成などで連携・協力する協定を、岐阜県立国際園芸アカデミーと結びました。今後も、市が主催する花いっぱい運動や花の育て方講座への学識経験者の派遣などを継続して行っていただきます。

今西学長は「公園づくりワークショップや花壇の講習会など、学校外の活動も充実させ、一層の連携を進めたい」、市長は「今まで以上に連携し、知見をまちづくりに生かしてほしい」と協定への期待を語りました。

## みんなの力で乗り越えて!

4月28日、イビデングリーンテック株式会社から「窓口の職員に活用いただきたい」と同社が受託運営する花フェスタ記念公園のスタッフが手作りしたマスク300枚と、紙マスク1,000枚の寄附をいただきました。

4月30日には、市内で不動産業を営む株式会社土地の果実から「医療現場でリスクを背負って働いている人を応援したい」と紙マスク2万枚と消毒液360Lなどの寄附をいただきました。

市長は「マスクが少なく困っていたが、医療機関などを中心に、責任をもって配らせていただく」とコメントしました。



4/28に坂井代表取締役社長(左写真)から、4/30に柴田代表取締役(右写真)から寄附を受け取る市長